

## P3fax 埋め込みコマンド

### 埋め込みコマンドとは？

埋め込みコマンドは、P3 Printerで印刷するテキストに埋め込むテキスト形式のコマンドです。このコマンドを使えば、メッセージをP3faxに自動的に追加することができます。P3fax が必要とする、メッセージの受信者やメッセージに含めるファイルなどのすべての情報は、埋め込みコマンドを使って指定することができます。

P3 Printerで文書を印刷するときに、P3consoleはコマンドを処理し、メッセージを送信する前にそれらのコマンドを削除します。

1つの文書の中で複数のコマンドを使用できます。ただし、以下の条件で作成してください。

- 英語で記述されていること
- Commandsフォントは12 ptであること
- 各コマンドを[[...]]で囲むこと
- Word 97またはWord 2000をお使いの場合は、「文書をレイアウトするときにプリンタの設定に従う」オプションを必ず選択してください。このオプションは、Wordの「ツールーオプションー互換性」メニューにあります。



全角／半角の日本語ならびに「¥」マークは、埋め込みコマンド内部には使用できません。

P3faxで利用できる埋め込みコマンドは多くありますが、次のコマンドが主要なものです。

[[TO=...]]


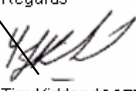
[[HOLD]]

[[PRINT]]

以下は、埋め込みコマンドを含んだサンプル文書です。

それぞれの  
埋め込み  
コマンドを  
[[...]] で  
囲みます。

埋め込み  
コマンド  
[[END]]  
は、文書  
の最後に  
記述  
します。

Wordcraft International Ltd.	
<b>Park Hill Hilton Road Egginton Derby DE65 6GU United Kingdom</b>	<small>Designers, Developers, Manufacturers and Suppliers of: P3fax: Network Fax with web and email interface P3ocr: host your own OCR server with no client software to install Unimessage Pro: Unified Fax and Email Messaging The Newnews: Desktop news and information from any of over 3000 sources ocrNow!: pay-as-you-go on-line OCR service</small>
<b>Telephone:</b>	<b>+44-1283-731400</b>
<b>Fax:</b>	<b>+44-1283-731401</b>
<b>Internet:</b>	<b>www.wordcraft.com</b>
<b>Email:</b>	<b>tim.kirkland@wordcraft.co.uk</b>
	
[[FAX=Jim Smith;MIKE;123456]] [[NAME=Paperworld: Meeting]] [[hold]] [[print]] [[time=18:00,07:45]]	
<b>To:</b>	<b>Jim Smith, Paperworld Inc.</b>
<b>Copy:</b>	Mike Jones, Wordcraft International Ltd
<b>From:</b>	<b>Tim Kirkland, Wordcraft International Limited</b>
<b>Subject:</b>	Meeting November 12 <i>Document1</i>
<b>Fax Number:</b>	Phonebook
Dear Jim	
Thanks for your message; I would certainly like to discuss supply arrangements.	
I will be in New York between 11 <sup>th</sup> and 15 <sup>th</sup> November – could we meet on the 12 <sup>th</sup> ?	
Regards	
	
Tim Kirkland [[END]]	

上記の例では、複数の埋め込みコマンドが、情報や命令を P3fax に伝えるために使われています。各コマンドの詳細は、下記を参照してください。

- 埋め込みコマンドのそれぞれを `[[...]]` で囲みます。12 pt の Commands フォントを使って、埋め込みコマンドは印刷されます。
- 送信時に埋め込みコマンドはイメージから削除され、コマンド部はそのまま空白になります。
- `[[TO=Jim Smith;MIKE;1234567]]`  
メッセージは、3 箇所送信されます。  
P3fax の連絡先「Jim Smith」に関連するファクス番号または E メールアドレス  
同じ P3fax インストール上の「MIKE」  
ファクス番号「1234567」
- `[[SUBJECT=PaperWorld:Meeting]]`  
メッセージが割り当てられ、件名「PaperWorld:Meeting」はメッセージを検索するのに使用することができます。
- `[[HOLD]][[PRINT]]`  
メッセージは「保留」状態で配信トレイに追加され、コピーが印刷されます。
- `[[TIME=18:00,07:45]]`  
保留したジョブの送信操作を開始するには、配信トレイの目的のメッセージを選択し、ツールバーの緑のボタンをクリックします。上記コマンドでは、メッセージは、毎晩 18:00 から明朝 07:45 の間で送信されます。
- `[[END]]`  
このコマンドを使ってメッセージの終わりを示します。メッセージが P3fax 経由で送信する個人メールの一部である場合は、P3fax がマルチページ印刷を個別のメッセージに分割できるようにするために、このコマンドは不可欠です。

他の埋め込みコマンドに関しては、以下をご覧ください。

### `[[APPEND=ファイル名, 先頭ページ-最終ページ]]`

指定したファクスファイルをメッセージに加えるときに使用します。ページ範囲を指定すると、指定したページがメッセージに付加されます。ページ範囲を指定しない場合は、ファクスファイルのすべてのページがメッセージに付加されます。

例:

```
[[APPEND=C:\StdTerms.FAX]]
[[APPEND=C:\StdTerms.FAX, 2-3]]
```

### `[[BCC=受信者の一覧]]`

「Bcc」の受信者を指定するときに使用します。ファクス番号や E メールアドレス、電話帳の連絡先の名前を入力できます。複数の受信者を入力するときは、「;」(セミコロン)で区切ってください。



「Bcc」一覧の受信者は、他の受信者へのメッセージには表示されません。

### `[[BROADCAST=ファイル名.TXT]]`

メッセージの送信先のファクス番号や E メールアドレスが個別の行にリストされているテキストファイル名を指定するために使用します。このコマンドは別のアプリケーションがテキストファイルを生成し、それぞれの受信者に同一のメッセージを送信する際に便利な機能です。



同一のメッセージよりもむしろ個人メッセージを送信するときは、TO、FAX または、EMAIL の埋め込みコマンドを使ってください。

各メッセージの最終ページの終わりには、`[[END]]`埋め込みコマンドを含めてください。

### [[CC=受信者の一覧]]

「Cc」の受信者を指定するときに使用します。ファクス番号や E メールアドレス、電話帳の連絡先の名前を入力できます。複数の受信者を入力するときは、「;」(セミコロン)で区切ってください。

### [[COVER=送付状の名前]]

このファクスメッセージに送付状を添付するときに使用します。使用する送付状の名前を入力してください。

例:

[[COVER=Memo]]

### [[DEVICE=デバースマスク]]

このジョブを扱うデバイスを選択します。複数のデバイスを選択できます。

「デバースマスク」には、デバイス名を入力します。また、ワイルドカードを使用することもできます。例えば、デバイス名が「modem」で始まるデバイスをすべて選択する場合は、「modem\*」と入力します。

例:

[[DEVICE=MODEM\*]]

### [[EMAIL=受信者の一覧]]

Eメールの受信者を指定するときに使用します。このコマンドは、E メールアドレスとファクス番号の両方を電話帳に保存している連絡先を入力する際に使用します。E メールコマンドは、この連絡先にメッセージを送信する際には、ファクス番号よりも E メールアドレスを優先して使用することを示します。E メールアドレスとファクス番号の両方を電話帳に保存している連絡先を To/Cc/Bcc に指定すると、送信先をどちらにするかを選択するダイアログが表示されます。

### [[END]]

1 つのマルチページ印刷文書を個別のメッセージに分割するために使用します。個人メッセージを生成するデータベース機能と共に P3fax を使用する場合は、このコマンドを各メッセージの最終ページの終わりに使用することは必須です。さもないと、各受信者はすべての受信者のメッセージのコピーを受信することになります。

### [[FAX=受信者の一覧]]

ファクスの受信者を指定するときに使用します。このコマンドは、E メールアドレスとファクス番号の両方を電話帳に保存している連絡先を入力する際に使用します。ファクスコマンドは、この連絡先にメッセージを送信する際には、E メールアドレスよりもファクス番号を優先して使用することを示します。E メールアドレスとファクス番号の両方を電話帳に保存している連絡先を To/Cc/Bcc に指定すると、送信先をどちらにするかを選択するダイアログが表示されます。

### [[FAXSHOT]]

このメッセージが個人メールの一部であることを示すときに使用します。

通常、印刷される文書の埋め込みコマンドに含まれている情報が不十分だと、P3fax は処理を停止し、十分な情報を要求します。[[FAXSHOT]]コマンドが存在する場合には、P3fax はエラーログダイアログを介しエラーを報告し、別のジョブの追加を続行します。このコマンドは、メッセージの送信方法に「常時 P3 メールサーバを使用する」を選択している場合にのみ使用します。

### [[HOLD]]

配信トレイに追加するジョブを保留状態にするときに使用します。保留されたジョブは、送信操作を開始するまで送信されません。

## [[ IMAGE=イメージファイル名 ]]

ファクス文書のここに「BMP, .PCX, .TIF」または「.JPG」イメージを挿入するときに使用します。

例:

[[ IMAGE=C:\MyImage.BMP ]]



[[ IMAGE=... ]] コマンドを挿入したら改行してください。コマンドに続いてテキストをそのまま入力すると、入力したテキストは挿入するイメージファイルで上書きされます。

## [[ INCLUDE=ファイル名 ]]

この文書の現在開いているページの、この行に「.FAX」形式のファイルを含めるときに使用します。

例:

[[ INCLUDE=C:\MyHeader.FAX ]]



[[ INCLUDE=... ]] コマンドを挿入したら改行してください。コマンドに続いてテキストをそのまま入力すると、入力したテキストは挿入する「.FAX」ファイルで上書きされます。

## [[ MESSAGE=メッセージ ]]

送付状に挿入するメッセージを指定するために、[[ COVER=... ]] 埋め込みコマンドと組み合わせて使用します。1 段落を超えて指定することはできません。

## [[ OVERLAY=ファイル名 ]]

「.FAX」形式のファイルを重ねるときに使用します。

指定した「.FAX」ファイルは、現在表示しているページの上に透過した形で重ねられるので、ページに印刷されているテキストは隠されることなく、すべて表示されます。例えば、「.FAX」ファイルが書き込み用紙などの場合に、用紙の書き込み箇所をページのテキストで記入した状態にすることができます。

例:

[[ OVERLAY=C:\MyForm.FAX ]]

## [[ PRINT ]]

通常使うプリンタに指定した Windows プリンタを使ってファクスメッセージのハードコピーを印刷する際に使用します。

## [[ PRIORITY=1/2/3/4/5 ]]

このメッセージの優先度を指定するときに使用します。「1」が最も優先度が高く、「5」が最も低くなります。より優先度が高いメッセージから先に送信されます。

## [[SUBJECT=件名]]

メッセージのタイトルおよび [件名:] フィールドのテキストを指定します。

## [[TIME=dd/mm/yy hh:mm]]、[[TIME=開始,終了]]

### [[ TIME=開始 ]]

配信の開始日時を指定します。

日付および時刻を指定する場合:

[[ TIME=23/12/07 18:00 ]]

この例では、配信の開始日時を 2007 年 12 月 23 日の午後 6 時に設定しています。

日付または時刻を指定する場合：

**[[TIME=18:00]]**

この例では、現在の日付から毎日、午後 6 時から午前 0 時までの間に送信されます。

**[[TIME=23/12/07]]**

この例では、2007 年 12 月 23 日の 00:00 以降、任意の曜日または任意の時間に送信されます。

**[[TIME=開始,終了]]**

配信の開始日時と終了日時を指定します。

**[[TIME=23/12/07 18:00,24/12/07 08:00]]**

この例では、2007 年 12 月 23 日の午後 6 時から 2007 年 12 月 24 日の午前 8 時までの間に送信されます。

現在の日付の時刻を指定する場合は、日付を省略することができます。

**[[TIME=18:00,08:00]]**

この例では、現在の日付から毎日、18:00 から翌日の 08:00 までの間に送信されます。

メッセージが「終了時間」までに送信されなかった場合、そのメッセージは [送信ボックス] に残り、ステータスが「時間切れ」となります。

**[[TO=受信者の一覧]]**

受信者を指定します。